



< 広報資料 >

2005年12月

2006年は経営統合の成果が問われる年

～ 統合はゴールでなく、新しいエンターテインメントの

創造に向けたスタート～

株式会社バンダイナムコホールディングス

2005年はバンダイとナムコの経営統合という我々にとって大きなターニングポイントとなる年となりました。2006年はいよいよ経営統合の成果を問われる年となります。新しい年のスタートにあたり、バンダイナムコグループの皆さんは、是非「夢」を持っていただきたいと思います。それも漠然とした夢ではなく、できるだけ具体的で、かつ大きな夢を持っていただきたいのです。そしてその夢に向けて、達成するための努力をしてください。

バンダイナムコグループは、社員の皆さんの夢を後押しするグループでありたいと思います。業務改善や新しい企画など、どんどん周りに提案しチャレンジしてください。グループ内ですでに様々なコミュニケーションをスタートしていますが、もっとお互いを知り、お互いの良さを発見し、新しいエンターテインメントの実現に向け、遠慮せず、意見をぶつけあってください。

バンダイとナムコの経営統合で何が生まれるのか、世間は注目し楽しみにしています。経営統合はゴールではなくスタートです。

「夢・遊び・感動」は、まず、社員の皆さんがバンダイナムコグループでの自分の夢を描かないと動き始めません。経営統合により、これだけの新しいノウハウ・幅広い事業・優秀な人材という舞台とチャンスが整いました。このチャンスをどう活かすのかは皆さん次第です。

是非、大きな夢を持って前に踏み出し、バンダイナムコグループを「世界で最も期待されるエンターテインメント企業グループ」にしようではありませんか。

株式会社バンダイナムコホールディングス 取締役会長 高木九四郎
代表取締役社長 高須武男

2006年1月5日にグループ内ポータルサイトに掲載されるトップメッセージの一部を抜粋しました。